

瀬戸内市立牛窓西小学校

(児童数 72名 教職員数 16名)

めざせ！あいさつ名人

アピールポイント

「いつでも、どこでも、だれにでも」を合言葉に気持ちのよいあいさつが進んでできることを目指しています。

高学年の班長には、自分の班の中であいさつができていた人を紹介することで、全校の模範としての自覚が高まります。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

教職員への登校中のあいさつは、比較的できているが、地域の方へのあいさつが今一つできていない。週のめあてなどで取り立てて指導するとあいさつができるようになるが、なかなか継続しない。

■活動内容

- 1 みんなが気持ちのよいあいさつができるための取組についての意見を運営委員会で話し合う。
- 2 放送で登校中に気持ちのよいあいさつができていた人を紹介する。
(高学年の班長がその班であいさつができていた人を紹介する。)
- 3 紹介された児童にシールを貼って掲示し、意欲・達成感を高める。
- 4 シールが5枚以上たまったらあいさつ名人として認定され、あいさつ名人バッジをつけてもらう。

■取組の参加メンバー

教職員・児童会・全校児童

■成果・効果

1年目は、班ごとに宣誓書を書いて、あいさつをがんばる意識を高めたり、マスコットを募集してあいさつ名人バッジをつくったりすることであいさつを全校でがんばろうとする気持ちの素地を築くことができた。

がんばりシールを貼って、掲示することで低学年の児童にとっては、特に励みとなった。班長・副班長にとっては、全校の手本となるあいさつが求められることで意識の高まりが見られた。また、お互いのがんばりを認め合おうとする態度を養うことができた。